

商店建築

SHOTEN KENCHIKU

10

特集1：新ライフスタイルに対応したSC

特集2：最新プロジェクトに見るプレゼン術

業種特集：新しい空間機能の美容室

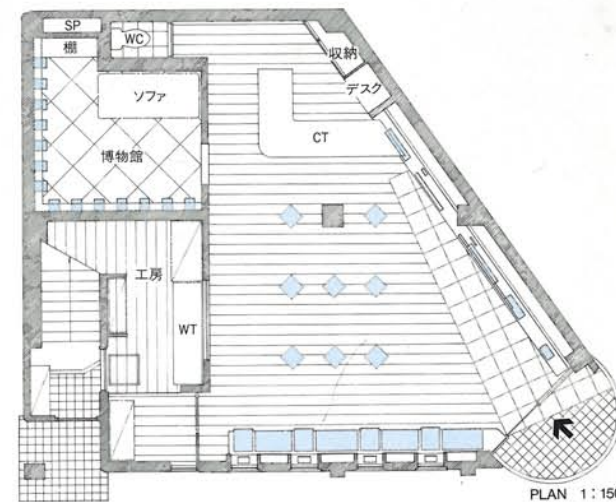




入り口より店内全体を見る



入り口右手壁面のガラス什器



撮影/平井広行

ビンテージの個性を生かす時計・貴金属店 太安堂本店

神奈川県横浜須賀町東逸見町1丁目1

設計/大塚ノリユキデザイン事務所 大塚則幸
 施工/ディメンション 岡本泰治 協力/照明 ウシオスペース 山口晋司
Jewelery Shop TAIANDO-HONTEN
 Higashi-hemi-cho Yokosuka-shi Kanagawa Designer Noriyuki Otsuka

近代美術館をイメージした空間

JR横須賀線は鎌倉の手前より山間を縫うように走る。トンネルを二つ三つと越えるころようやく海が見え出し、電車は横須賀駅に到着する。駅近くに竣工した「太安堂本店」の創業は1901年であり、時計、眼鏡、宝石を扱う貴金属店屈指の老舗である。15年前よりビンテージリストウォッチも取り扱い、その品質と商品構成はマニアの間では定評がある。数十年の時を刻み続けるビンテージの精緻さ

は芸術品の域となり、見る者を魅了する。

設計にあたり平面構成は店内、工房、そしてオーナーのコレクションを展示するミュージアムと三箇所のスペースに分節した。陳列される腕時計はその大きさゆえ、羨望の眼差しで見つめられる。その熱い眼差しに耐えうるようガラスのみで製作したケースは、幾度もラフスケッチを繰り返し、納まりに神経を集中。店内中央に吊られたショーケースは、垂涎的であるビンテージウォッチを、どのよ

うな角度からでも見る事ができるようなデザインとした。貴金属店のインテリアは一般的に短絡的な情景描写になりがちだが、オーナーの栗崎氏には「歴史の蓄積とは時代時代の良い物を理解し、時を超越していくべき」と理解を示していただき、芸術品を展示する近代美術館をイメージした空間とした。

〈大塚則幸〉

オーナーのひとこと

当店でビンテージウォッチを始め、現行品の時計、宝石、眼鏡を扱っています。ビンテージウォッチの良いものは、1940年から50年にスイスで作られたものが多く、その大部分が、当時戦場にならなかったアメリカに流れたことから、現在、高い品質のビンテージウォッチの買い付け市場は主にアメリカです。

年に5回ほどニューヨーク、ロサンゼルスに行き、1回で50から60個買付けてきますが、丹念に中（機械部分）を調べて修理し、品質の保証できるものとして店に並べるにはそのくらの数が限界でしょう。ビンテージと言っても古ければ価値があるということではなく、現在のものにはない、細やかな職人の仕事が行なわれているから価値があるのです。その良さをきちんとお客様に伝えていきたいですね。新装した店内には非売品のビンテージウォッチの博物館も設けて、手仕事の素晴らしさをお客様に見ていただいています。

当店のような小さな店に良い時計が配給されなかった戦後、米軍基地の兵隊さんが売っていった時計を置いていたというようなエピソードがあるのも横須賀ならではの、ここ横須賀で店を続けることにこだわるのは、そんな小さな歴史の積み重ねがあるからです。

〈栗崎賢一／文責編集部〉

■「太安堂本店」データ

工事種別：内装のみ 新築 床面積：78㎡

工期：1996年6月20日～8月6日

■営業内容

開店：1996年8月8日 定休日：水曜日

営業時間：午前10時～午後7時30分

電話：(0468)22-5522 経営者：栗崎賢一

従業員：5人（うち職人2人）

主な取り扱い商品と単価：

メンズビンテージウォッチ 4万5000～100万

レディースビンテージウォッチ 3万～60万

メンズ腕時計現行品 10万～180万

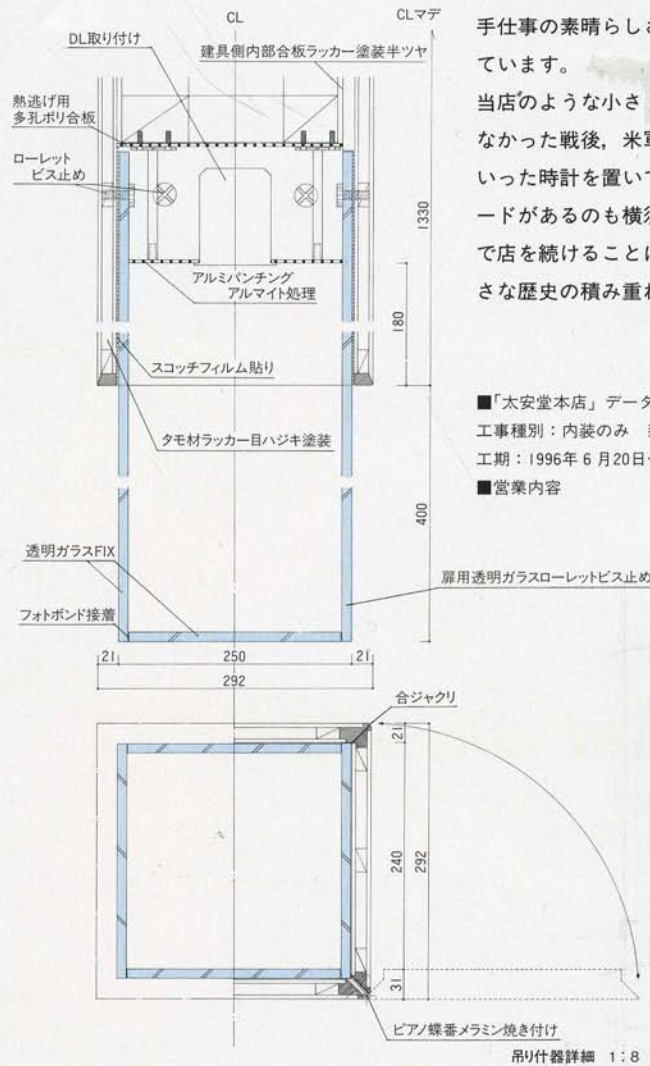
レディース腕時計現行品 1万～100万

■主な仕上げ材料

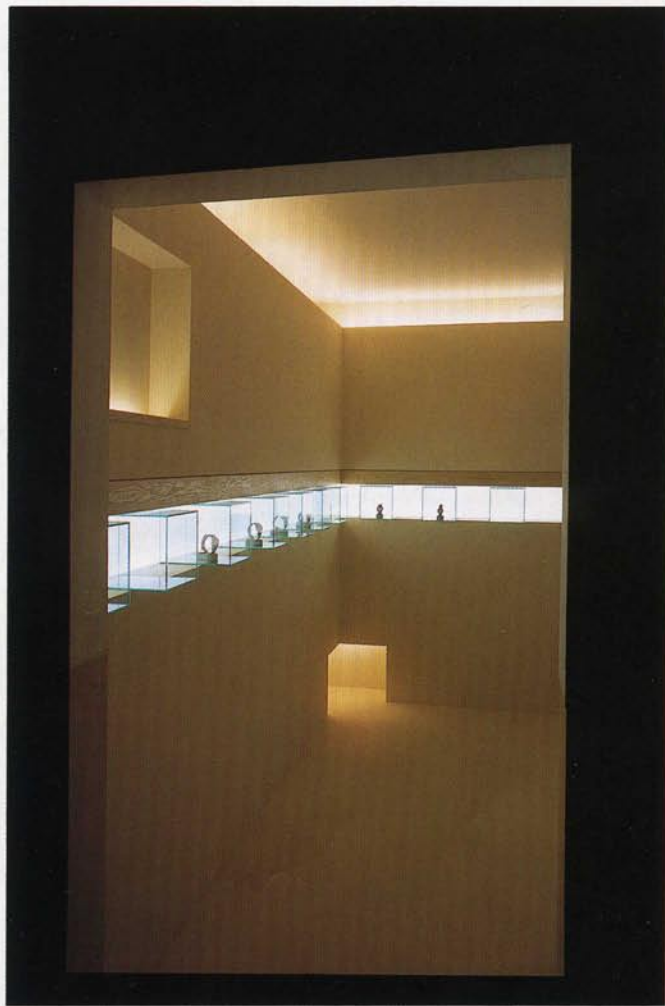
床：ショップ／モルタル金ゴテ下地タイル圧着貼り 400角目地同色（イタリアンタイル／NTC）モルタル金ゴテ下地カバ材木目塩ビフローリング水性ワックス仕上げ（塩ビフローリング／東京木材企業）博物館／シンダーコンクリート＋モルタル下地石灰石貼り600角（ハーヴェストン）撥水剤塗布 工房／木軸組みコンパネ下地カバ材木目塩ビフローリング水性ワックス仕上げ

壁：ショップ／軽鉄組みPB t12.5下地（一部PB二重貼り）セメント系薄塗材塗布（ジョイントVファインウォールデコ／日丸産業）一部カバ材木目合板 t4 貼りセラミック塗装 博物館／軽鉄組みPB t12.5二重貼り下地寒冷紗パテしこきEP 一部同下地ジョイントVファインウォール着色金ゴテ仕上げ 腰壁・カバ材木目合板 t4 セラミック塗装 工房／軽鉄組みPB t12.5下地寒冷紗パテしこきEP

天井：ショップ／軽鉄組みPB t12.5下地寒冷紗パテしこきEP 博物館／軽鉄組みPB t12.5二重貼り下地寒冷紗パテしこきEP 一部同下地ジョイントVファインウォール着色金ゴテ仕上げ 工房／軽鉄組みPB t12.5下地寒冷紗パテしこきEP



左頁／天井からの吊り什器。時計をすべての角度から見られる上／カウンター側より入り口方向を見返す



博物館内を見る

